



熊本再春医療センター医療連携室だより



再春

令和2年 第1号

発行所：熊本県合志市須屋2659番地
熊本再春医療センター
編集：医療連携室

KUMAMOTO SAISHUN MEDICAL CENTER

熊本再春医療センターホームページ <https://saisyunso.hosp.go.jp/>



当院入院中のI様から最新作のCGを戴きました。I様、いつも有難うございます。
新型コロナウイルス感染症により、じっと耐えてがんばっている皆様への心強いメッセージが
とても励ましになります。文字もマウスを使い丁寧にCGで描いています。

病院の理念

わたしたちは
患者さまひとりひとりの人権を尊重し
思いやりの心を持って
安心と信頼の医療を
提供します

病院運営の基本方針

1. 患者さま中心の医療
2. 専門知識及び技術の向上
3. チーム医療の推進
4. 地域医療連携の推進と地域への貢献
5. 経営基盤の安定

Contents

1. 院長あいさつ 2
2. 新病院建替進捗(Ⅲ期工事) 3
3. 病棟・部門紹介【6階病棟】 4
4. 開放型病院登録医紹介【みやの小児科】 4
5. 病棟・部門紹介【臨床検査科】 5
6. 開放型病院登録医紹介【なみかわ小児科】 5
7. 中止となったイベントのお知らせ 6
8. 新任スタッフ紹介 7~8



ご挨拶

病院長 上山 秀嗣

昨年末に中国武漢市で初めて確認された新型コロナウイルス感染症の感染拡大の勢いは凄まじく、あっという間にパンデミックとなりました。最近やっと感染者数の減少傾向を認め、5月25日には全国で非常事態宣言が解除されたところです。しかし、今後第2波到来の可能性があり、まだまだ予断を許さない日々が続いていくと考えられます。皆様方におかれましては感染防止対策をどのようにされていますでしょうか？

前回の広報誌「再春」においてご案内申し上げました当院主催の第42回九州地区重症心身障害研究会ですが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、残念ながら3月7日(土)の開催を延期させて頂きました。本研究会は2年後の令和4年3月5日(土)に開催予定ですので、改めてご案内申し上げたいと思います。また、6月6日(土)に開催予定でありました当院主催の「第12回医療連携の集い」も、本年度は中止することを決定しました。このように、新型コロナウイルス感染症は院内外において甚大な影響を及ぼしています。

当院は平成31年4月より病院名を「独立行政法人国立病院機構熊本再春荘病院」から「独立行政法人国立病院機構熊本再春医療センター」に名称変更して早1年が経

過しました。昨年9月に8階建ての新本館棟の運用を開始し、今年3月に旧東西病棟を管理棟に改修し移転しました。今年度は半年間かけて旧外来棟の解体と駐車場の整備を行い、11月にグランドオープンを迎える予定です。これまで同様に政策医療を推進する一方で、熊本県北部地域の救急急性期医療を担う中核病院として努めていきますとともに、地域医療の更なる発展に貢献していく所存でございます。

昨年10月より半年間にわたり常勤医が不在となっていました循環器内科ですが、熊本大学病院循環器内科 辻田教授のご高配により、今年度より常勤医2名(外牧潤 循環器内科部長、久保田 雄二 循環器内科医師)が着任致しました。4月から循環器内科疾患全般の診療に加え、心臓カテーテル検査・治療、心臓リハビリテーションを再開しましたので、患者さんのご紹介を何卒よろしくお願い申し上げます。

今年度も当院は熊本県地域医療支援病院、熊本県指定がん診療連携拠点病院、熊本県難病診療分野別拠点病院、そして熊本県地域医療連携ネットワーク拠点病院として、責任ある地域医療への貢献に努めてまいりますので、皆様方には今後とも変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

病院建替え工事（Ⅲ期工事）の進捗状況

企画課長 橋本 和明

令和元年6月に新本館棟新築のⅡ期工事が完成し、移転が完了した令和元年9月よりⅢ期工事が始まりました。

Ⅲ期工事は二段階に分かれており、旧東西病棟を新しい管理棟へ改修する工事と、旧東西病棟改修後、移転後に使用しなくなった管理棟、外来棟、手術棟、放射線棟などの旧建物を解体し、整地した後に駐車場を整備する外構工事、Ⅱ期工事で完成した新本館棟の西側に正面玄関前のロータリーを造る工事となっています。

今回は、Ⅲ期工事の前半部分となる旧東西病棟の新管理棟改修工事についてお知らせします。

まず工事概要ですが、旧東西病棟は6つの病棟とリハビリ、療育指導部門、看護師更衣棟などが入っていましたが、今回の改修で東棟1階に売店、食堂、イートインコーナー、西棟1階に療育指導部門と生活支援棟の機能を移転、東棟2階に医局と看護部更衣棟、西棟2階に医局と治験管理室、臨床研究部、東棟3階に院長室、応接室、事務室などの管理部門、西棟3階に会議室と診療情報管理室、医療安全・感染管理室、教育研修室、東西4階は倉庫や実習生の更衣室などを設ける内容となっています。

部屋、廊下などの内装を解体し、天井、床、壁などを改修して新しい間取りにあわせた各部屋を造っ

ていきました。特に設備関係では、冷温水を使ったファンコイルユニットによる冷暖房から部屋ごとのエアコンにかわりました。

残念ながら、すべてを一新することはできず、一部については既存のままとなっています。

外装はそれほどの変化はありませんが、外壁を新本館棟に合わせて白く塗装を行っています。タイル部分については、そのまま残ることになりましたが、補修を行い、洗浄して綺麗になっています。

工事は令和元年9月から令和2年2月までの6ヶ月間で、2月19日から21日にかけて機構本部による部分完成検査が行われ、3月2日に建物の引き渡しとなりました。

引き渡し後に今年度2度目の引越しを行い、建物の新築、改修関係は完了しています。

現在は、旧建物の解体に入っていましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で工事が一時中断になるなど、工事の進捗に若干の影響を受けています。

今のところ計画どおり令和2年10月には全工事が完了する見込となっていますが、最後まで管理、施工業者と調整しながら無事工期内に工事が完了できるよう進めていきたいと考えています。

新管理棟西(旧西病棟)外観



西棟1階 生活支援棟ホール



東棟1階 イートインコーナー

病棟・部門紹介 No.7

6階病棟のご紹介

6階病棟看護師長
山田 理恵

当院は熊本県の難病診療分野別拠点病院であり、熊本県域の神経筋萎縮性側索硬化症（ALS）医療の中核的役割を担っています。6階病棟ではALSのほかパーキンソン病、多系統萎縮症、クロイツフェルトヤコブ病などの慢性期から終末期の患者さんや、協力病院の要請に応じて合併症を有する高度な医療を要する神経難病患者さんを受け入れています。平成21年にはALSセンターが設置され、より高度で専門的な対応ができるように取り組みを行っています。神経筋難病病棟の特徴として、神経筋難病では発病初期は、しびれや動きにくさ、筋力の低下などから始まり、いろんな病院を受診されたあと、精査・診断されることが多く、病状が徐々に進行していきます。その中で、患者さんやご家族は、胃瘻造設や人工呼吸器装着などの延命治療に関することや、緩和ケアを進めていくのかなど意思決定をしていかなければなりません。医療者である医師、看護師は患者さんやご家族の意向を常に確認しながら意思決定支援を多職種と協力して行っています。

また自宅での生活を希望される患者、家族には在宅療養支援として、自宅での介護における技術指導や退院カンファレンスを開催し地域との連携を図っています。また自宅での生活が長く行えるよう家族の介護疲れを軽減できるためのレスパイト入院を受け入れており、登録者数も現在70名程度と増加しています。また災害時の緊急避難入院受け入れ体制をとり、地域とも連携しながら、患者さんのQOLの充実や、安心して安全な在宅療養ができるように、人工呼吸器装着患者も含めて支援を行っています。

最近の傾向として、ALS患者の機能障害抑制を目的とするエダラボン点滴治療が導入されており、少しでも病状の進行が抑えられるように患者さんに計画的に治療ができるように支援しています。

神経難病を患った患者さんは身体的精神的社会的にいろんな苦痛やストレスを感じながら生活をしています。その中で新たな治療の開発や社会の状況が変わっていく中で、少しでも患者さんの思いに寄り添った支援ができるよう病棟スタッフ一同頑張っていきたいと思えます。



開放型病院登録医紹介

みやの小児科

院長／高島 健二

合志市幾久富1866-513

TEL 096-248-5800 FAX 096-248-6831

診療内容／小児科、内科

診療時間／ 9:00～12:30

14:30～15:00（予防接種）（土曜日は13:30～15:00）

15:00～18:30（土曜日は15:00～16:00）

診察日	月	火	水	木	金	土	日
9時00分～12時30分	○	×	○	○	○	○	○
14時30分～15時00分 (予防接種)	○	×	○	○	○	△	×
15時00分～18時30分	○	×	○	○	○	△	×

※土曜日の予防接種は13:30～15:00、土曜日の午後の診察は15:00～16:00です。

みやの小児科 高島院長先生には、平成23年7月より当院開放型病院登録医として、多くの患者さまを紹介いただいております。

合志市幾久富に開業され、地域の多くの患者さんの診療をされています。①丁寧でわかりやすい説明 ②正確な診察、診療 ③お子さんが安心できる楽しい環境提供を基本方針に、患者さんの生活の質（Quality of Life）を損なわない治療の提供に努められています。

また、特色として、日曜午前中の診療も行っております。



病棟・部門紹介 No.8

臨床検査科のご紹介

臨床検査技師長
園田 敏雅

臨床検査科は科長(医師)1名、臨床検査技師15名、検査事務助手1名、総勢17名のスタッフで業務に取り組んでいます。検査科理念としましては迅速かつ精度の高い良質な検査データの提供に努め、患者さん中心の医療提供を目指しています。

当科は、生理検査部門、検体検査部門、輸血検査部門、病理部門、細菌部門と多くの部門から構成され、分野ごとに認定資格を有する臨床検査技師が業務を担当しています。

生理検査部門では年間約1万8千件の検査を行い、とくに脳波検査は国立病院機構施設の中でも症例数が多く成育医療や神経疾患診断に貢献しています。また 昨年度、肺機能診断装置が新しく更新されました。検査時の患者負担を少なくすべく測定機器の整備、技術の向上に努めています。さらに近年注目されているPOCT(臨床現場即時検査)にも「心電図検査」「超音波検査」を中心に取り組んでいます。ベッドサイドや診察室に向いて検査を行いリアルタイムにデータを提供します。患者さんの負担が軽減されるほか結果報告までの時間が短縮され迅速な診療につながります。これからは多くの施設で取り入れられる検査スタイルと思われれます。

検体検査部門では年間約80万件の検査を行い、「精度保障施設」の認定を受け質の高い検査結果を提供しています。院内で実施するすべての検査項目は医療法で定められた「標準作業手順書」を遵守し測定を行っています。使用する試薬や消耗品、測定機器の作業記録も細かく記録管理しています。病理検査部門は熊本大学病理と連携して、地域がん診療連携拠点病院の一端を担っています。

チーム医療の実践としましては栄養サポート(NST)、感染対策(ICT)、糖尿病教室の講師として診断支援にも関わっております。また、夜間や休日診療に応えるための検査体制も整え、診療支援を行っています。昨年9月より新病院での運用をしておりますが、以前と比べ外来診療科や採血室との移動距離が短縮され患者さんにとって診療環境も向上したのではないのでしょうか。

これからも、患者さんにとって安心して安全な医療を提供しサービスの向上に努めてまいります。



開放型病院登録医紹介

なみかわ小児科

院長/並河 紳

菊池郡大津町室959

TEL 096-293-1163 FAX 096-293-0751

診療内容/小児科

診療時間/ 8:30~12:00

13:30~14:00 (予防接種)

14:00~17:30 (土曜日は14:00~15:30)

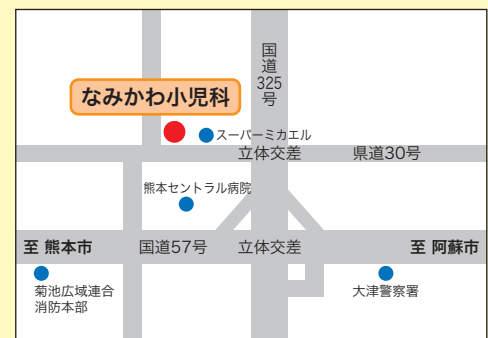


診察日	月	火	水	木	金	土	日
8時30分~12時00分	○	○	○	○	○	○	×
13時30分~14時00分 (予防接種)	○	○	○	×	○	○	×
14時00分~17時30分	○	○	○	×	○	△	×

※土曜日の午後の診察は14:00~15:30です。

なみかわ小児科 並河院長先生には、平成23年7月より当院開放型病院登録医として、多くの患者さんをご紹介いただいております。

平成2年に大津町室に開業され、地域の多くのお子さんの診療をされております。また、平成30年に診療所のリフォームをされ、現院長の並河 紳先生に医院継承されております。新しくなった診療所では内装にも様々な工夫がされており、ますますお子さんにも親しみやすい診療所となっております。



新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の感染拡大の影響により、開催が中止となったイベントについて

①第42回九州地区重症心身障害研究会

- 日時** 令和2年3月7日(土) 9:40~16:30
- 場所** 熊本市民会館 シアーズホーム夢ホール
- 特別講演** 「重症心身障害児・者の在宅支援について」
島田療育センターはちおうじ 所長 小沢 浩 先生
- 主催** 独立行政法人国立病院機構 熊本再春医療センター
- 共催** 社会福祉法人 志友会 くまもと芦北療育医療センター
社会福祉法人 志友会 くまもと江津湖療育医療センター
独立行政法人国立病院機構 菊池病院

②第12回熊本再春医療センター「医療連携の集い」

- 日時** 令和2年6月6日(土) 18:30~21:00
- 場所** ホテル日航熊本

次回開催について

①九州地区重症心身障害研究会

- 日時** 令和4年3月5日(土) 開催予定
- 場所** 熊本市民会館
- 特別講演** 「重症心身障害児・者の在宅支援について」
島田療育センターはちおうじ 所長 小沢 浩 先生
- 主催** 独立行政法人国立病院機構 熊本再春医療センター

②熊本再春医療センター「医療連携の集い」

- 日時** 令和3年6月5日(土) 開催予定 18:30~21:00
- 場所** ホテル日航熊本

採用・異動職員からのごあいさつ

■ 医師

統括診療部 循環器内科部長 外牧 潤

4月1日から循環器内科に着任しました外牧潤と申します。前任地は熊本中央病院で勤務しておりました。

熊本再春医療センターでの勤務は初めてで、循環器内科常勤医が不在の状況からのスタートでしたので不安な気持ちで赴任しました。しかし、他科の先生方やスタッフの方が温かく協力的で予想以上に働きやすい病院であり、この病院に勤務させていただけることを感謝しております。

力不足な点は多々ありますが、少しでも地域医療に貢献できればと思っております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

統括診療部 整形外科医長 堀川 朝広

熊本再春医療センターに2020年4月に赴任しました堀川朝広（ほりかわともひろ）です。整形外科医として23年目となります。

出身は熊本県人吉市です。私の祖父は演歌歌手「島津亜矢」さんのお爺様の従兄弟です。父がお母様の再従兄弟（はとこ）となり、私は三従兄弟（みいとこ・8親等）となります。残念ながら島津亜矢さんには一度も会ったことがなく、彼女は私の存在を認識していないと思います。

中学・高校時代はハンドボール部、大学時代はラグビー部に所属し肉体を鍛えてきました。現在の趣味は御朱印集めで、神社仏閣を巡りながら心を清めています。

【専門・得意分野】

最も得意とする分野は膝疾患であり、人工膝関節置換術、半月板縫合、前十字靭帯再建術等を行ってきました。特に変形性膝関節症等における膝周囲骨切り術（遠位大腿骨骨切り術や高位脛骨骨切り術）には力を注いできており、症例数および研究・発表等は他の医療機関にも引けを取りませんでした。その他にも骨粗鬆症・スポーツ整形外科・関節リウマチにおける各学会の専門医および認定医を取得しています。

【診療の時に心がけていること】

私達は医師であるとともに科学者です。信頼のおける科学的根拠（エビデンス）に基づいた医療行為を行うために日夜研鑽に努めております。

また、ヒポクラテスの誓いの中には「自身の能力と判断に従って、患者の利すると思う治療法を選択し、害と知る治療法を決して選択しない」があります。

私はこの二つを心がけて診療に当たっています。

統括診療部 循環器内科医師 久保田 雄二

2020年4月より赴任致しました循環器内科の久保田雄二と申します。医師になって8年目になります。昨年度から、毎週木曜日に

熊本大病院より非常勤医師として当科に勤務させていただき、研修医時代は熊本大病院の臨床研修プログラムで、2013年10月～2014年9月までの1年間、当院で1年間、研修させていただきました。現在も、研修医の時に大変お世話になりました先生方が多数いらっしゃいまして、その節は大変お世話になりました心より感謝申し上げます。旧病棟での研修医時代をとっても懐かしく思い出しながら、日々の診療をしております。まだまだ循環器内科医として未熟ですが、外牧先生のご指導の下で、一生懸命頑張っていく所存でございますので、どうかご指導ご鞭撻の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

統括診療部 整形外科医師 唐田 宗一郎

4月より熊本再春医療センターに赴任致しました唐田宗一郎（からた そういちろう）と申します。天草出身で佐賀大学を卒業し、熊本へ戻り2年間の初期研修を終えました。熊本大学整形外科科学教室に入局し、大学病院、熊本医療センターでの勤務を経て、整形外科3年目となります。趣味は食べること、トライアスロン、筋トレです。今年は全国のトライアスロン大会が軒並み開催見送りとなり、非常に残念に思っております。

熊本再春医療センター、また県北の病院には初めて勤務することになりますので、何かと至らない点も多いかと思えます。急性期、慢性期含め様々な症例を診ることができ、貴重な経験を積んでおります。今後も地域の診療に貢献できるよう邁進して参ります。宜しくお願い申し上げます。

統括診療部 整形外科医師 関 昭秀

初めまして、整形外科医師の関昭秀（せき あきひで）と申します。昨年度は熊本赤十字病院で勤務しており、今年度から熊本再春医療センターで勤務させていただいております。将来地域に根差した医療を提供する医師を目指しており、患者さん一人一人にしっかり向き合い、病気の治療だけではなく、今後の人生や生活様式に合わせて医療を提供できればと考えております。熊本再春医療センターでは地域の先生方と連携を深めながら患者さんに良い医療を提供するとともに地域に根差した医師に必要なことを勉強させていただければと考えております。前の勤務先では急性期中心の病院であったため不慣れなこともあり、ご迷惑をおかけすることもあります。1日でも早く患者さん、先生方のお役にたてるように邁進する所存です。至らないことも多々あるとは存じますが、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

統括診療部 脳神経内科医師 山崎 義宗

医師5年目の山崎と申します。

脳神経内科としては、熊本大学病院および熊本赤十字病院にてご指導を頂き、神経診察技法や神経伝導、頸部血管エコーなどの諸検査、頭部画像読影技術などを学びました。

脳神経内科は急性期から回復期の幅広い患者さんに対し、全身の症状を観察しケアできるところが魅力だと考えており、またそうあるべく努めております。とくに脳血管疾患の予防に関して、生活習慣指導やリハビリテーションのレクチャーなど様々な側面からできるよう、見分を広め深めていく所存です。

特技としては、東洋医学的診察および証に合わせた漢方薬の処方があります。熊本大学病院には向野先生、熊本赤十字病院には加島先生にご鞭撻を頂いており、西洋医学では対処しきれない愁訴に対しても患者さんに寄り添い、症状改善の助けになれます。先達には及ばぬものの、弁証に基づいて、経絡への刺激や生活指導もできると思っておりますので、何かお悩みのことがありましたらお気軽にお尋ねください。

未だ若輩者ですが、日々勉学に励みながら頑張っていくたく思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

統括診療部 呼吸器内科医師
宮崎 蒼

平素より大変お世話になっております。この度4月より熊本再春医療センターの呼吸器内科に勤めることになりました宮崎蒼と申します。医師になって4年目とまだ新米で、八代にある熊本労災病院で2年間研修を行い、昨年度は大学病院で勤務していました。まだまだ呼吸器内科医としては未熟ではありますが精一杯働きますのでよろしくお願いいたします。

2019年末より新型コロナウイルスが流行しており、あらゆる分野に影響が広がっております。私も年度末より仕事が忙しくなり、休みの日も自粛しながら家で過ごす日々が続いています。あまりストレスはためず前向きに頑張りたいと思います。今回の自粛期間をきっかけに今まであまりしていなかった料理に挑戦しています。まだレシピを確認しながらなれない手つきで行っていますが、徐々に上達しているのを感じています。

以上新採用の挨拶とします。よろしくお願いいたします。

統括診療部 小児科医師
橘 秀和

4月より新たに赴任してまいりました、小児科の橘 秀和と申します。約2年ぶりに、地元に近い、熊本再春医療センターへ戻ってまいりました。以前とは建物も建て替わり、とても明るい雰囲気になり、心機一転新たな気持ちで、望む所存でございます。こちらの小児科は、地域の拠点病院としての役割以外にも、小児神経・発達・不登校・在宅医療・重心医療といった分野をより専門的に行われている機関でもあり、熊本県内の様々な中核病院からもたくさんの方の相談・紹介を受けています。私自身、小児科として特にその分野に携わっていかれたらと考えており、多くの疾患に触れる機会を得ることができ、大変うれしく思っていると同時に、より専門的な知識と経験をつみ、熊本の小児医療へ貢献していかなければならないと身の引き締まる思いでもおります。精一杯努力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

統括診療部 小児科医師
北村 由希子

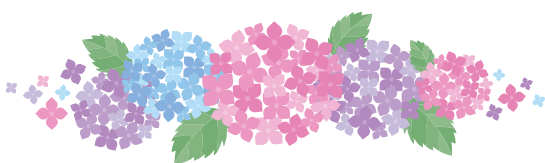
2020年4月より当院に赴任いたしました。卒業3年目の北村と申します。

初期研修は公立玉名中央病院で行い、熊本大学小児科入局後は熊本中央病院、熊本医療センターで勤務しこちらにまいりました。

卒業3年目ですが、再受験で医学部に入学したので昭和生まれのアラフォーです。総合診療科専攻医の夫と5歳の娘がおり毎日たばたと過ごしております。

趣味はヨガと登山です。・といっても子どもができてから、ほとんど行けていませんが夫の実家の決まりで、子どもが6歳になったら富士山を登るといふ慣習があるのでそろそろ登山を再開したいなあと思っております。

当院での勤務は半年の予定です。まだまだ未熟者ですのでご迷惑をおかけすることの方が多いたと思います。精一杯がんばりますのでどうぞよろしくお願いいたします。



■ 看護部

看護部 副看護部長
筒井 三記子

この度、福岡東医療センターより昇任で異動してまいりました。熊本・八代の出身であること、また熊本再春医療センターの沿革が前施設とよく似ていることから、とても親近感が湧きました。広大な敷地に美しい桜、真新しい施設に迎えられ、身の引き締まる思いです。

熊本再春医療センターの使命を認識し、病院理念である「患者さまひとりひとりの人権を尊重し、思いやりの心を持って安心と信頼の医療を提供する」ために、組織の一員として自分に与えられた役割をしっかりと果たせるよう努力していきたいと思っております。わからないことも多く、ご迷惑をおかけすることが多々あるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

外来 看護師長
嶋井 久美子

熊本南病院から配置換えで参りました嶋井久美子と申します。私は閉校となった当院の看護学校を卒業し、平成2年に再春荘病院に入職しました。当時、東病棟は新築されたばかりでとてもきれいな病棟だったことを記憶しています。3年前に転勤し初めて他施設での勤務となり、改めて当院の良いところを沢山感じました。今回、また熊本再春医療センターで勤務させて頂くこととなり大変うれしく思います。初めての外来勤務ということもあり、力不足で皆様にご迷惑をおかけすることもあると思っておりますが、一生懸命頑張りたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

4階病棟 看護師長
藤本 亮一

この度、異動により4階病棟師長として着任しました藤本亮一と申します。

異動前は、吉野ヶ里遺跡で有名な佐賀県の吉野ヶ里歴史公園付近に位置する、肥前精神医療センターの認知症治療病棟にて勤務しておりました。

私は、看護師として今年で25年目（師長7年目）を迎えましたが、そのほとんどを精神科単科の病院で過ごしてきました。特に、認知症看護については、認知症の患者さんやご家族に対する意思決定支援を充実させたいと思ひ、自己研鑽を続けてきたつもりです。その一方で、再春医療センターのように歴史ある急性期の病院で、自身の役割を果たすことができるのか？不安感は尽きません。皆様には、多方面においてご迷惑をおかけすることがあるかと思いますが、少しでも頼りにしていただけるよう努めたいと思ひます。今後とも、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

7階病棟 看護師長
遠藤 優希

4月より赴任してきました、7階病棟師長の遠藤です。

このような時期の転勤であり、前勤務先では様々なことがありましたので緊張していましたが、熊本再春医療センターで新たな年度を迎えることができ、ほっとしております。

師長としては新任ですので、わからないことも多く、ご迷惑をおかけすると思ひますが、当院の理念でもあるように、患者さまひとりひとりの人権を尊重し、思いやりの心を持って安心と信頼の医療を提供できるよう、病棟管理、スタッフ教育に取り組んでいきたいと思ひます。よろしくお願いいたします。